

ネパール・ミカの会

会報 No. 2

1997年11月15日

連絡先：〒194-02 東京都町田市常盤町3196 世羅美庵内

Phone: 0427-98-0046

ルンビニ地区小学校建設に向けて

ネパール・ミカの会
会長 齋藤理也

祝誕生地ルンビニ地区の教育支援援助、小学校建設に向けて走り出す季節になりました。

本年3月にマホマディア小学校の屋根修復工事をルンビニ開発信託事業団職員、ヌルブ・ラマ君の要請に快く承知してくれて、工を手伝ってくれた地区。その村人が住む小学校を今回は建設したいということで、計画を立てました。できれば二教室・職員室・トイレを新築したいということで、100万円を目標金額にしております。

年間会費500円という通信費にも満たない当会の財政から考えると、目標が高すぎるのでは、という声もありますが、協力者の広がりによって運動を展開すれば何とかなるのでは、と考えています。

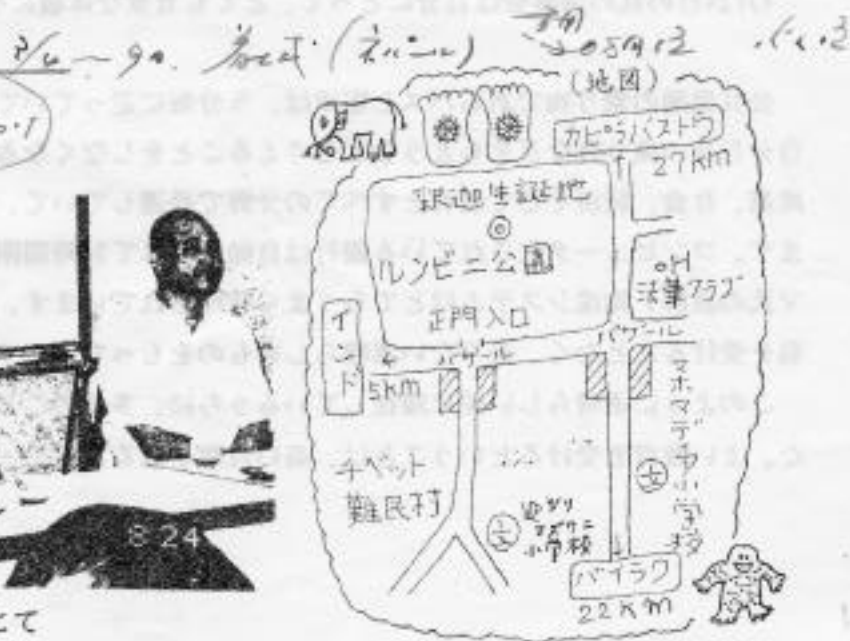
他のNGO等のネパール小学校建設は、200万～400万円位ですが、当会では、直接、ヌルブ・ラマ君が工事監督をし、一人一人の資金も細かくチェックして渡すという「手から手へ」という形が取れますので、請け負った有力者が、半分以上を懐にという心配は全くありません。ヌルブ・ラマ君の今夏の来日によって、その人柄や、信念について信用できることが、より会員の皆様にはおわかりになったことと存じます。

「無理なく・さきやかに・でも誠意を込めて」当会は、来年三月の着工式参加に向けて歩み出したいと思っております。

会員各位が、ご家庭内での努力、友人への呼びかけと輪を広げられて、目標額に近づけるよう、ご協力をお願いします。



ヌルブ・ラマ氏 講演会にて



いつまでも心に残る日本の旅

ネパールの首都カトマンズを飛び立って、私は、関西国際空港に生まれて初めて降り立ちました。1997年7月6日の日のことです。高原氏、坂氏それに福田さんとお二人のお子さんが待合室で待ち受けてくれていて、出迎えてくれたのです。その方々は東京からわざわざ出迎えに来てくれたのですから、私は、感謝感激しました。空港から高原氏と私は船で徳島に向かいました。他の方々は、東京に戻りました。2階建ての大きな船で、涯しない海原を旅しました。これまでに、小さな舟をただ一回経験しただけで、泳ぎすら知らない私にとっては、とてつもない機会でした。心のはずむ経験でした。でも、半ばあたりに来たころでしょうか、ときに風が吹いてきた時などは、私にとってはぞくぞくするものでした。

徳島に1週間ほど滞在して、東京に向かいました。東京では、町田市の薬田寺に住むことになりました。薬田寺に滞在している間は、ミカの会会長の斉藤謙也様とご家族の皆様にととても親切に、護しくしていただきましたので、まるで自分の家族と一緒にいるような思いで、なんら困ることもありませんでした。東京に滞在中に、いろいろな土地を訪れる機会がありました。例えば、富士山、甲斐駒ヶ岳、京都、神戸、大阪、鎌倉それに東京の多くの繁華街です。

時間が許す時には、高原書店の町田本店と新宿センターで日本の仕事を勉強することができました。また、ボーリング・チャリティとワイワイ祭に参加することもできました。

8月24日の私の講演会は自分にとって、とても貴重な体験になりました。

公共機関の乗り物であるバスと電車は、5分毎に走っていて、とても便利なので、自分自身の乗り物などをもとうなどと考えることをしなくなるほどでした。日本は、産業、社会、経済そして教育とすべての分野で発達していて、全世界の範になっています。コンピュータ化されている銀行は自動化されて24時間開いています。（注・ラマ氏の誤解）物流システムはとてもうまく管理されています。日本は、国土による制限を受けることなく、限りない素晴らしいものをもっています。

このように素晴らしい国に滞在しているうちに、多くのことを学ぶことができました。よい教育を受けるということは、高い点数を取ることや、資格を取ること

ということではありません。多くの本を読むことや、四方を壁に囲われた研究室の中で、化学や物理の実験を繰り返すことで充分ということでないということです。国や時を経た田舎ある場所を見学すること、言うまでもなく文化に馴染み親しむことが、この地球の全生物の幸福について考えることや精神こそが、教育を受けることの本質なのだとの考えに至りました。

ネパールにおりましたとき、いろいろな日本の方と日本のいろいろな分野についてお話をすることがありました。その時、私がいつも感じたのは、日本人はだれもがともにお金持ちであるということでした。日本を訪れて、このことが事実であると知りよした。ただ、自分たちの生活水準を維持するのに、一生懸命働き、収入を得る努力をしていることです。そして日本の方々は、それなりの問題をもたれているでしょうが、それでも、貧しい国の貧しい子供達になにかをしてあげたいと思われています。貧しい子供達に寄せられる愛と思いやりに、それらの子供達を助けようとするお心に、いたく感謝いたしました。日本の方々は、ネパールのような貧しい国の人々の発展のためのチャリティーやバザーで寄付金を集めています。このようにして一生懸命集められたお金は、私どもネパール人は恥じることもなく受け取っています。私どもはこれら寄付金の大切さを理解しようとしなければなりません、と同時に、ふさわしい使い方をしなければなりません。いまや、私どもにとって大切なことは、寄付金にただ頼るだけでなく、私どもの側でも何かをしなければならぬ、ということに思いました。私たちは自覚して、手に汗を流して働かない限りは、自分の国を豊かささせることはできません。ネパールのような国では、外部からの援助を必要としていますが、私どもも自分達の勤めをなすべきなのです。

日本に私をお招きくださいましたネパール・ミカの会のすべての皆様に御礼申し上げます。そして、日本のように諸事費用がかかる国で、3か月にもおよぶ滞在を通じて、私を助けてくださったすべての友人に心から御礼申し上げます。貴国に滞在中に得ましたすべての知識と経験は、将来、貴国の貧しい村の子らに役立つことをしたいという思いにかられることでしょう。子どもたちに代わって、すべての方々に私から感謝の気持ちを申し上げます。と、ともに、将来ともご親切なご援助とご指導が得られますよう願っています。

敬 啓

援助校報告

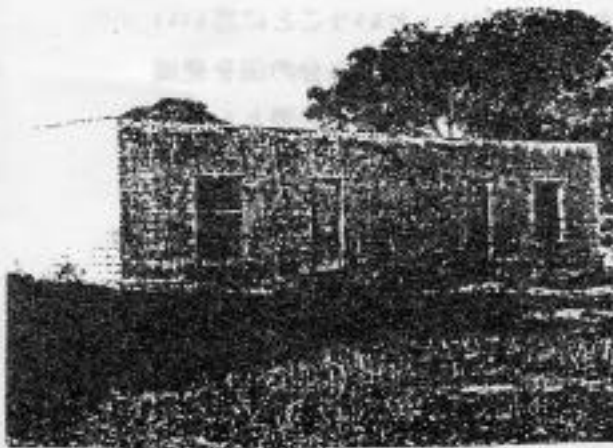
10月12日、帰国したラマ君から来年援助する小学校の報告書が送られて来ましたので、急遽会報に組み込む事にしました。

現在の小学校には校舎がありますが、きわめて小さく（2教室）どうしても野外授業をすることが多い。（ネパールでは5年制）しかし敷地が広いので、新たに校舎ができればきわめて意義のある援助となります。

前回は回教徒の村の私立小学校（学童 120名）でしたが、今回は公立で 400名ちかい学童数の学校です、しかも新築するため、困難な事が多いと思いますが、なんとか彼等の笑顔を見られる様がんばりたいと思います。（坂 育夫）

付記

名称	shree Madhuvani Primary school (シリ マズワニ小学校)					
住所	Mahilavar Ward no8 Madhuvani V D C Lumbini					
先生	7人					
職員	1名					
生徒数	1年	2年	3年	4年	5年	合計
少年	62名	53名	63名	45名	35名	258名
少女	30名	34名	28名	20名	13名	125名



PRESENT SCHOOL BUILDING
現在の学校の建物



Proposed Area for the construction of

New school Building

新しい校舎の
建設場所



School Students & Teachers

先生と學生

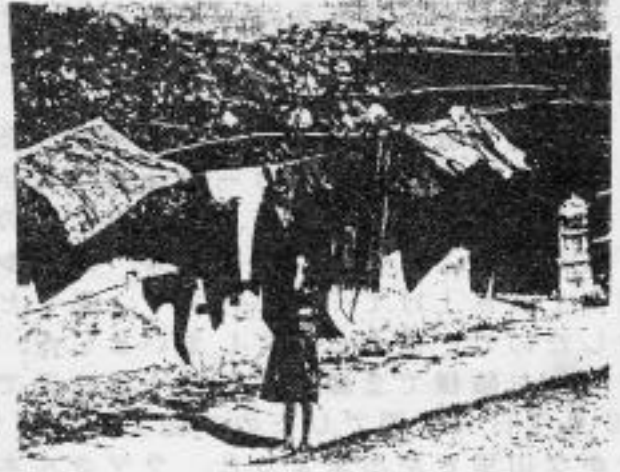


Villages near the School

学校近くの村



Another Village



ネパール支援ボウリング大会

1997年9月2日（水）相模原ジャスコスペースレーン

加藤 誠一

実は前回のネパール旅行の時にネパールのボウリング場に行こうと決めていたのです。カトマンズ到着すぐにロンシャン君に尋ねたところネパールには全く無いとの返事でした。その後、ネパールの物価、給与を聞きボウリング場が出来る事は考えられないと理解しました。何と日本での1ゲームの料金よりも1日の給与がはるかに低いのです。それでは1ゲーム止めても多少でもネパールに支援出来ればとボウリング仲間と企画した大会です。ネパールの現状を理解していただき継続的に支援をするつもりでスタートしました。幸いセンターの理解と、日頃のボウリング仲間の協力、一般の方の参加で総勢135名全レーン貸し切りとセンター始まって以来の大会になりました。大会趣旨の説明、女子プロの紹介に続きラマ君の始球式と予定どおり大会はスタートしました。今回はレーンを交代で使用する本格的はルールでどのボックスもベテラン、初心者入り乱れピンと格闘しておりました。フラッシュライトとロックにのってのストライク合戦もスリリングでとても楽しそうでした。最終的に約200,000.の収益金をミカの会にお渡しできほっとしています。参加していただいた皆様も楽しんで頂けたようで次はいつやるのか？の声も聞かれました。私たちは常例で大会を開催するのではなく、ボウリングを通じネパールを理解、国際的な援助を細く長く行う事に意義を見いださなくてはなりません。いつの日かボウリング場が出来て国際試合が出来るような豊かなネパールになって欲しいと思うのは私だけではありません。可能であれば年1回恒例に開催出来るようミカの会の皆様のご協力をお願い致します。尚、収益金を本当に意義のあるものにして頂ますようお願い申し上げます。

楽しかったラマさんとの登山

中野千恵子

9月6日、7日ラマさんと甲斐駒ヶ岳、仙丈岳に山登りしようと提案したものの、言語、習慣の違い等、とても不安に思っていました。しかし、8月24日「ラマさんの講演会」でお会いして、好青年でしたので、悩みも飛んでしまいました。

登山当日は重い物を持ってくれたり、先頭を歩き「下り坂だよ」「平らな道だよ」等声をかけてくれます。その場所に「エンヤコラ」登っていくと1M位の下りや、平坦な道なのです。頑張つて歩く様勵ましてくれたのです。

又、道が直登コース、花崗岩のざれたコースの選択の所では、眼の良いラマさんは「花崗岩コースはなだらかだけど時間がかかるので真っすぐ登りましょう。大丈夫、大丈夫」との事。実際大きな岩の連続な道は「右足はそこ、左足はそこ」等、声をかけてくれ大変な所は、手を引っ張って引き上げてくれるのです。私にとってその様事は、初めての経験でしたので、面食らってしまいました。

でも、お陰様で念願の甲斐駒ヶ岳に楽で速く登頂できました。

9月7日朝雨でしたので仙丈岳はあきらめました。とても楽しく和やかな山歩きが出来ました。ラマさん本当にありがとうございました。

「ラマ君と甲斐駒ヶ岳へ」

羽 藤 (葉 子)

今日の山歩きはいつもと少し違う。女三人、そして、ネパールのラマ君のパーティ
町田を夜11時に出発、真暗な道を車は直走り、芦安村に入る。幾つものトンネル
(夜はとても怖い)をぬけ、午前2時、広河原に到着。見上げると、真暗だと思った
空には星がいっぱい、目が慣れてくると、どんどん数が増えてくる……

車のライトの中、テントを張る、ラマ君の手際の良さにはびっくりする。夜明けま
での貴重な時間、四人はシュラフにもぐり込む、寝息が洩れてきた、私も早く寝なく
ては…… 山の朝はとても気分が良いそして木々の混じり合った山のおい
も大好きだ。出発までに暖かいお茶とおにぎりをおぼる(ラマ君、梅干し0.8)

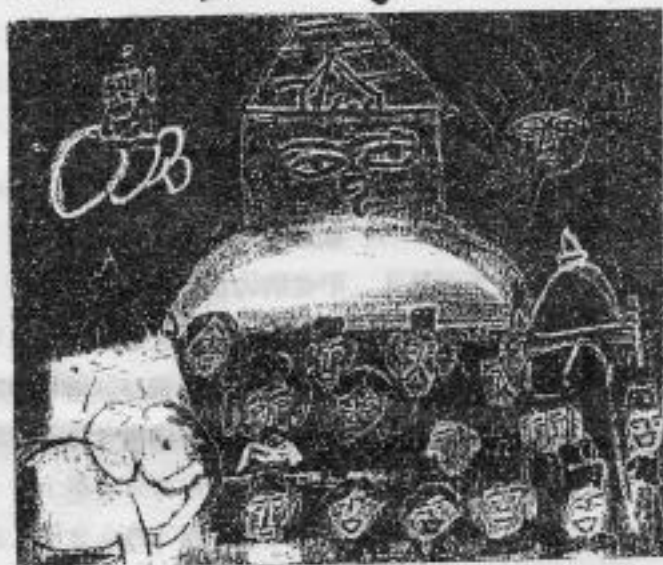
さあ甲斐駒ヶ岳へ出発! ザックを軽くしたつもりなのに、それでも、ドライブの
疲れか体がひどく重い、ラマ君は周りの景色に感心しながら、私達の前を足よりも軽
く、時々口笛を吹いたり、余裕そのもの、摩利支天が見え、甲斐駒の頂が見えてき
た。気持ちは元気なのだが、足が重い。ラマ君に助けられながら、あと少し、最後の
岩場に取り付く、これが中々スリルがあり、目が覚める。さっき迄の疲れも飛び、ど
んどん登れちゃう。頂上から雲の間に昨年登った地藏岳のオベリスクが見え感激する。
ラマ君は頂上の大岩にスルスル登る、きっと標高もスイスイ登ってしまうだろうなと
思った。帰りは樹林の中を飽きる程歩いてテントにたどり着く、すっかり暗くなって
しまった。テントの中で暖かいうどんとワインで乾杯する……

雨水が入らない様ペグを打ち、きちんとテントを張ってくれたラマ君
ありがとう。そして、登山中、気分を前へ前へと押し上げてくれた
のには、とても感心しました。

今年の山登りの中でも忘れられない登山になりました。

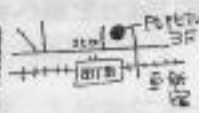


ネパール小学校支援 チャリティー バザー



12月18日 — 24日
10時 — 20時
小田急 田田北口駅前 高原書店

ネパール・ミカの会



ネパール

高原 組

行くてかや山一るのバ院、したき無思のた取、先たまい文とでえ。ヘタうーす
行いなラ登バオカネ寺果真っ驚出とッし、異くすはっしいの々他身すち人いバくす
へつどマ、ネ購ミでい風写かな相うドとが住きでにまて典代人にをまたいとネ良とし
ルにんヒリ、意、り古ののなきはるン心清と大うルしっの時の子のい供しる、仲と
ールといたでまたお、舎山ののなはる申察るちよ一て我ヤいも思子集げく、交
パールはし見ス開っかき旧のとて以たトをのみかたバれがラ古一私いと、あな
ネバは美をうあか行、ヤこっ、いカ案足て会れネ彩化マ、バはなるルはをでた
半ネ陳。真ユいでのに宮ラたとしたてる無自い杜さしが文ヒとネ彼れれ一助金ら
非で知た写ニと信とル主マ見にししれ、給っ折帳か園い。然、交らくバ援お持のた思
まのつこののル程会一やヒか私で采わ街自が経りし遊古す自明の得てネのへ笑ルると

事務局だより

<新会員紹介>

・大部 正健さん 町田市中町2-17-15

Tel 0427-26-9572

・稲垣美津子さん 横浜市磯子区米取沢町150-4 9-502

Tel 045-773-6461

<御協力ありがとうございました>

・寺田 和雄様 ・佐藤 文則様 ・川崎喜久子様

<チャリティー・ポーリング大会 募金>

202,979円

<町田ソロブチミストきつき様 町田わいわい祭り 募金>

15,407円

<郵便振替え口座番号>

ネパール・ミカの会 00160-2-413918

*ミカの会 月例会は毎月第3土曜日3時から、鶴田寺・こもればび堂で開催しています。

皆様、ご出席ください。

2011年12月18日 高原書店